



水通信



2022.4.27

第185号

水資源機構（旧水資源開発公団）は、令和4年（2022年）5月1日で設立から通算して60年を迎えます。これを記念してロゴマークを作成しました。

今後も「安全で良質な水を安定して安くお届けする」経営理念のもと、努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目次

☆ [【巻頭言】](#)

○ 中部支社 支社長 桑原 耕一

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

- 中部支社幹部人事異動についてお知らせします

[豊川用水](#)

- 豊川総合用水土地改良区高橋副理事長へ感謝状を贈呈しました
- 直営調査（地下水観測）のご紹介

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 新任所長あいさつ
- 木曽川沿線の紹介～中野の渡し（愛知県営西中野渡船場）

[愛知用水](#)

- 新任所長あいさつ
- 令和3年度可搬式浄水装置実地訓練（第2回）

[木曽川用水](#)

- 交通安全講習会（第2回）を実施しました

[岩屋ダム](#)

- 洪水期に備え防災訓練を実施しました！
- 「アユ迷入防止対策」を行いました

[阿木川ダム](#)

- 4月の転入者を紹介します
- ハナモモの花がきれいに咲きました

[徳山ダム](#)

- 新任所長あいさつ
- 国道417号線の冬期通行止めが解除になりました

[長良川河口堰](#)

- 水質事故対応訓練を実施しました

[味噌川ダム](#)

- 味噌川ダム防災資料館（ふれあい館）開館のお知らせ

[三重用水](#)

- 春の三重用水管理所にお越しくください

☆ [【イベントカレンダー】](#)

- 令和4年 5月～6月

☆ [【編集後記】](#)

- 担当課 中部支社総務部 総務課

巻頭言

【中部支社 支社長 桑原 耕一】

4月1日付けで水資源機構中部支社長に着任しました桑原です。

前任地の北陸農政局農村振興部では、国営事業をはじめとする農業農村整備事業全般を担当していました。水資源機構とのこれまでの関わりは、平成6～7年度に旧国土庁水資源政策課において、水資源機構の前身である水資源開発公団の水路事業を担当していたことです。在任中の平成6年には「平成の大渇水」が発生し、全国的に厳しい取水制限が行われ、旧国土庁が渇水対応のとりまとめを担いました。平成7年には阪神・淡路大震災が発生し、国土庁防災局併任となり、阪神・淡路大震災の特例措置を定めた特別財政援助法の制定に携わりました。いずれの年も、記憶に残る年となっています。



東海地域の勤務は初めてとなりますが、中部支社管内にある水資源施設は、東海地域に農業・水道・工業・発電の用水を安定的に供給し、木曾三川の洪水を防止する重要な施設であり、国民生活や産業活動への影響の大きさに改めて気の引き締まる思いです。

水資源機構の社会的使命は、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」とともに、「洪水被害の軽減・防止」にあります。水を供給する施設の機能を十全に発揮させるには、施設の適切な維持管理、施設の老朽化に対応して計画的な修繕・改築等を行っていくことが必要です。また、地震等による大規模災害への備え、気候変動に伴う異常洪水や渇水への対応も必要となっています。これらに対する水資源機構の取組について、関係機関やユーザーの皆様に、これまでも増して丁寧に説明し、調整していきたいと考えています。

水資源機構の強みは、多くの利水ユーザーや関係者の皆様の要望を踏まえて、主務省庁とも調整し、水資源利用の最適化と治水について一元的な管理に取り組んできたことにあります。これまでに培った技術力やノウハウを活かして、次世代の用水供給や洪水防止に向けて、施設機能と効果のさらなる発揮、コスト縮減や効率化、利水者へのサービス向上の取組を一層強化していきたいと考えています。

本年は、水資源開発公団の設立から60年を迎える節目の年であり、例年にも増して、広報活動とコミュニケーション活動を強化していきたいと考えています。

本地域の発展に向けて、微力ながら取り組んで参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける4月26日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の4月降雨量は平年を下回る状況（平年比38%～74%）となっており、4ダム合計の貯水率は65%（平年比81%）と、平年を下回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの4月降雨量は、平年を下回る状況（平年比58%～76%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は58%（平年比65%）と平年を下回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける4月の降雨及び利水貯水率（4月26日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	38	39	74	48	58	76	26	23
利水貯水率 （平年比）	31.9 (47.7)	58.9 (67.3)	100 (101.3)	99.8 (113.7)	43.9 (50.2)	72.3 (78.9)	92.7 (103.5)	100 (100)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>
- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など
<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuiyouhou04-1.html>



【雪溶けて 村いっぱいの子どもかな】小林一茶

・雪解けの季節を迎えて、待ちかねていたかのように子供たちが外へ飛び出し、村中で遊んでいることだ

小林一茶

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、木曾川水系連絡導水路の事務を支えるベテラン職員に、これまでの経験などについてお話を伺いました。



<Profile>

田岡 健二 Kenji Taoka

木曾川水系連絡導水路 総務用地課

(現：中部支社 総務部利水者サービス課)

平成4年 水資源開発公団 採用

愛知用水総合事業部に配属

(阿木川ダム管理所、徳山ダム管理所、三重用水管理所等にて勤務)

令和元年 木曾川水系連絡導水路へ異動

令和4年4月 中部支社へ異動

現在に至る

(写真：木曾川水系連絡導水路執務室を背景にインタビューを受ける田岡さん)

田岡さんは平成4年に水資源開発公団（現：独立行政法人水資源機構。以下「機構」という。）に採用されていますが、この組織を知ったきっかけと就職しようと思った理由について教えてください。

—— 高校時代に学校に来ていた求人票を見て、当時の先生から先輩方が就職しているので受験してみてもと紹介されました。実家近くに高知県の早明浦ダムあり、水資源開発公団という名前を知っていたことと、地元以外の世界を知りたい気持ちもあり受験した結果、就職できました。

高知県ご出身とのことですが、イメージとしてお酒に強い印象があります。田岡さんのご家庭やご自身はいかがですか。

—— 高知県出身者はお酒に強いイメージがあるかもしれませんが、家族でお酒が飲めるのは、父と私だけで、母と姉家族と兄家族は、一滴も飲めません。父も飲まなくなっ

た今は、私だけが飲めるという状況です。お酒は好きですが、健康に気をつけて週1回だけに止めています。

ちなみに、一番好きなお酒は何ですか。高知県と言えば、やはり日本酒でしょうか。

— ワインです。特に赤ワインが好きですね。転勤や旅行などで色々な各地のワインを飲んでいますが、一番好きなものは長野県塩尻市のワインです。

ワインが好きとはおしゃれですね。ここでお仕事に関する質問に移らせて下さい。田岡さんがこれまで携わられてきた業務と、印象に残っていることについて教えてください。

— 印象に残っている業務は、思い返すといろいろとあります。ここ最近でいうとやっぱり、事務所（木曾川水系連絡導水路）の移転ですね。就職して初めて事務所の移転を経験しました。通常、機構では、建設所から管理所に変わるときに事務所の移転がありますが、これまでは、その経験がなく過ごしてきたので、事務所内外の調整や引越しの段取り等の調整事が非常に多く、タイトなスケジュールの中で行う調整に大変苦労しました。

実際に業務を経験してみると、転勤に伴う個人の引越の何倍も大変で、事務所の皆さんが一致団結して協力いただいたおかげで、無事に揖斐川町に移転することができました。

確かに、事務所の移転というのはあまり経験することのない業務ですよね・・・この移転により、事務所が岐阜市から揖斐川町に移転しましたが、揖斐川町の印象について教えてください。

— 以前も徳山ダム管理所に勤務したことがあり、揖斐川町に住んでいたのが久しぶりに戻ってきたというのが正直な感想です。町の印象は、自然豊かでのんびりした感じがいいですね。

移転早々、何十年ぶりかの大雪に見舞われるなど大変な出来事もありましたが、現在田岡さんが携わられている業務について教えてください。

— 総務・人事業務、経理・契約業務といった一般事務を全て行っています。上司を除き事務担当者は私1人なので大変かなと思いますが、分からなければ上司や周辺の事務所担当者などに相談しながら、なんとか切り抜けて行っています。

機構の良いところは、困った時に助けてくれる事務所以外の様々な職員が色々なところにいるところだと多くの職員が思っています。現在は慣れない業務も含め、他分野のお仕事も経験され大変かと思いますが、休日の過ごし方について教えてください。

— 趣味としては、ドライブが好きです。無計画に行きたいところへ当てもなく運転し、様々な景色を楽しんだり、運転自体を楽しんでいますが、現在はコロナ禍につき自粛しています。

あとは、学生時代から長距離走をしていますので、ストレス解消にジョギングをしています。楽しく走ることをモットーに、日々楽しみながら走っています。

学生時代は長距離ランナーだったようですが、フルマラソンは走られたことがありますか。
—— ハーフマラソンは経験ありますが、フルマラソンは未体験ゾーンです。いつかは練習を重ねてフルマラソンにも挑戦したいですね。

何事も挑戦するのに遅すぎることはないですよ。いつかフルマラソンを完走されることを期待しています。最後に、田岡さんの今後の抱負をお聞かせください。

—— 4月1日付けで、中部支社総務部利水者サービス課に異動します。慣れない業務で最初は、多くの方にご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思いますが、今までの経験を生かして、粘り強く頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願います。

また、環境が変わり名古屋市での勤務になりますので、コロナ禍が一段落した折には、趣味を広げるなど、プライベートでも色々と楽しんでいきたいと考えています。

年度末から新年度にかけての業務多忙な中、インタビューにお応えいただきありがとうございました。田岡さんは木曾川水系連絡導水路で2年5ヶ月の間、多分野にわたりご活躍いただきました。今後は中部支社総務部利水者サービス課という利水者の皆様との窓口として、これまでの経験を活かして業務に従事されるかと思いますが、学生時代から培った長距離走での粘り強さで、今後のさらなるご活躍を期待しております。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応じていただける方を引き続き募集しておりますので、ご協力の程よろしくごお願い致します。



《新着情報》

中部支社

○ 中部支社幹部人事異動についてお知らせします

今春の中部支社の人事異動につきまして、以下のとおりお知らせ致します。関係者の皆様方には引き続きご支援の程お願い申し上げます。

役職名	新任者	前任者
支社長	<small>くわばら こういち</small> 桑原 耕一 農林水産省北陸農政局 農村振興部長より	坪井 浩二
副支社長	<small>はなだ ひろゆき</small> 花田 弘幸 中部支社事業部次長より	木下 昌樹
総務部長	<small>うめむら よししげ</small> 梅村 喜重 豊川用水総合事業部 経理課長より	杉田 康司
事業部次長 (建設)	<small>すえまつ よしやす</small> 末松 義康 中部地方整備局河川部 河川環境課長より	武田 真吾
事業部次長 (管理)	<small>もりあい まさと</small> 森合 正人 徳山ダム管理所長より	花田 弘幸

豊川用水総合事業部

○ 豊川総合用水土地改良区高橋副理事長へ感謝状を贈呈しました

3月25日（金）、高豊地区市民会館（愛知県豊橋市）にて豊川総合用水土地改良区副理事長高橋義晴様の感謝状贈呈式を執り行わせていただきました。

高橋副理事長におかれては、多年にわたり豊川総合用水土地改良区の役員として、水資源機構事業の推進、豊川用水の管理運営に尽力され豊川用水の業務推進に大きく寄与されました。その功労に深く感謝の意を込めて、水資源機構理事長（代行中部支社長）より感謝状を、水資源機構かんがい排水事業推進協議会（豊川総合用水土地改良区参事）より記念品を贈呈しました。

また、高橋副理事長からも感謝のお言葉をいただくなど和やかな雰囲気の中、贈呈式を終えることができました。



■左から 豊川総合用水土地改良区（事務局長、参事）、高橋副理事長、水資源機構（中部支社長）、豊川用水総合事業部長）

○ 直営調査（地下水観測）のご紹介

豊川用水総合事業部では、豊川用水二期工事施工に先立ち、工事予定区域に近接するボーリング孔の地下水位観測を毎月行っています。この調査は、工事施工前の地下水位に関する基礎資料を得ることを目的としております。

ボーリング孔は豊川用水路付近や道路脇など、いろいろな場所に点在しています。特に山の中に設置されているボーリング孔は、標高の高い位置にあることが多く、計測機器を持ちながら、息を切らして急斜面を登っています。やっと目標のボーリング孔に到着した後、（息を整え）計測機器をボーリング孔へ下ろしていきます。計測機器を重力に従い、下ろすことは簡単ですが、回収（巻き上げる）が一苦勞です。

体力的に大変ではありますが、二期事業を推進していくために必要不可欠な調査であり、今後も適切な調査を進めてまいります。



■ 目的地までの険しい山道



■ 森に佇むボーリング孔



■ 水位観測状況

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 新任所長あいさつ

本年4月、木曾川水系連絡導水路建設所長として着任しました加藤 正典です。

私は以前、平成20年9月4日～平成22年3月31日まで同建設所に在籍し、その時は主に環境影響検討を実施しておりました。あれから12年ほどが経過し、再び木曾川水系連絡導水路建設所で仕事をさせて頂くこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

この導水路事業は、揖斐川、長良川、木曾川の木曾三川にまたがる広域的な事業であり、関係する方々が非常に多いのもこの事業の特徴と考えております。

また、昨年11月末からは、揖斐川町に事務所を移転し、導水路事業に関する業務（事業検証、地下水調査や環境調査など）を行っております。

今後、関係者の皆様にはいろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



○ 木曾川沿線の紹介～中野の渡し（愛知県営西中野渡船場）

愛知県一宮市西中野と岐阜県羽島市下中野町の木曾川の兩岸（約800m）を結ぶ渡し舟、中野の渡しをご紹介します。岐阜県道118号・愛知県道135号羽島稲沢線の一部を構成しており、正式呼称は「愛知県営西中野渡船場」です。

この渡し舟の運営費は愛知県と岐阜県の両県が負担し、利用は無料で乗船時間は約7分間です。現在の主力船は船外機付きで定員14名乗りで自転車も乗せることができる「第五中野丸」であり、船は一宮市西中野側で待機し、羽島市側から利用の際は、用意されている旗を掲揚するなどして対岸に合図をするそうです。利用時間や運休日は一宮市観光協会HP若しくは羽島市観光協会HPで確認できます。なお、川の増水や風の影響で臨時運休することもあるそうです。



■ 船着き場から出航



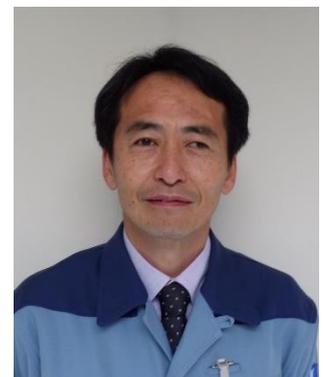
■ 船上より下流に木曾川大堰を望む

愛知用水総合管理所

○ 新任所長あいさつ

4月より愛知用水総合管理所長を拝命しました宮下 武士と申します。

前任は千葉用水総合管理所長として印旛沼及び4つの用水事業の管理を行っていました。また、6年前までは中部支社の水管理・防災課長として管内の利水と防災に携わり、木曾川・豊川水系の利水と治水の特徴を把握してきたつもりです。今般、日本の高度経済成長を支え、その完成までの歴史、規模とも日本随一ともいえる愛知用水の管理に携われますことを誇りに思いますとともに、地域の



産業とくらしを支える用水の安定供給に対する重責を感じているところです。

昨年、愛知用水は通水60周年を迎えたとのことで、今後ともその役割を後世に引き継いでまいりたいと思います。そのためにも施設が抱えるさまざまな課題、牧尾ダムの堆砂対策や幹線・支線の耐震、老朽化対策や財産の保全等にも計画的に取り組んでまいります。

また、4月より関係者の皆さまへごあいさつさせていただく中で、長引くコロナ禍を背景に、水源地への交流人口の減少、事務所がある愛知池や三好池でも地域のイベント・行事が中止されているとのことでした。まだまだ先の見通しは立たないところではありますが、少しずつ再開の動きもあるようですので、水源地と受益地を結ぶ愛知用水の役割として、これらの活動を支援してまいりたいと考えております。

私事ですが、趣味はランニングとバイク、特にランニングは各地の大会を巡って美味しい食べ物をいただくことを目的に日々鍛錬しております。事務所のある愛知池は一周約7キロ、その他水源地のやぶはら、おんたけ、いびがわ、もしかマラソン等があり、今からコロナ禍明けの開催を楽しみにしております。

今後とも愛知用水の管理・運営について職員ともどもご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○ 令和3年度可搬式浄水装置実地訓練（第2回）

愛知用水総合管理所東郷調整池を利用し、3月3日（木）、4日（金）の2日間にて可搬式浄水装置の実地訓練を行いました。災害支援等において必要な可搬式浄水装置を確実に設営・操作することができる人材の育成を目的として、コロナ禍かつ年度末という時期となりましたが17名が参加し、操作手順を確認しながら順調に訓練を終わらせることが出来ました。また、3日の午後には、日本水道協会中部地方支部からの訓練見学者も多数見えて、装置及び訓練状況の確認をしています。



■ 訓練前のミーティングの様子



■ 実地訓練の様子

木曾川用水総合管理所

○ 交通安全講習会（第2回）を実施しました

2月4日（金）稲沢警察署から講師を招き、交通安全講習会を開催しました。

本講習は、木曾川用水に勤務する職員等を対象に、安全運転及び運転に対する責任等の意識を高めるため各年度2回実施しております。

今回は自転車をテーマに取り上げ、運転時のルールや注意点、稲沢市内の事故多発箇所などについて、講師による講話及びDVDの上映を実施しました。自転車事故の防止及び被害軽減の知識を習得すると同時に、自動車運転時の対自転車事故の防止についても考える機会になりました。

安全運転に対する意識をより一層高く持ち、事務所一同安全運転に努めてまいります。



■講習会の様子

岩屋ダム管理所

○ 洪水期に備え防災訓練を実施しました！

4月13日（水）、出水期に備え、防災訓練を実施しました。

当訓練では、下流巡視、関係機関への防災操作に関する通知や情報等の連絡、サイレン吹鳴方法などの手順の確認のほか、停電時の対応として予備発電機への切替え訓練を行いました。

さらに4月25日（月）には、洪水対応演習が行われました。洪水期まで訓練を重ね、実際に洪水があった際に迅速な対応や円滑な情報伝達が行えるよう職員一同努めて参ります。



■ 警報車の操作手順確認



■ 予備発電機への切替え訓練

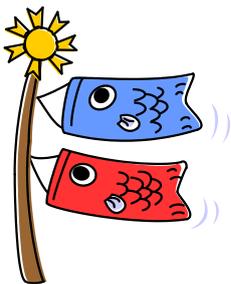
○ 「アユ迷入防止対策」を行いました

岩屋ダムでは昨年度に引き続き、4月14日（木）に馬瀬川下流漁協と共同で「アユ迷入防止対策」を行いました。

この対策は、アユを忌避させる方法として流水中を漂うリボンが有効であるという知見から、袋小路となっている馬瀬川第二ダム直下にアユが迷い込まないように、リボンのついたロープを設置するものです。



■ リボンをつけたロープでアユ迷入防止対策



阿木川ダム管理所

○ 4月の転入者を紹介します

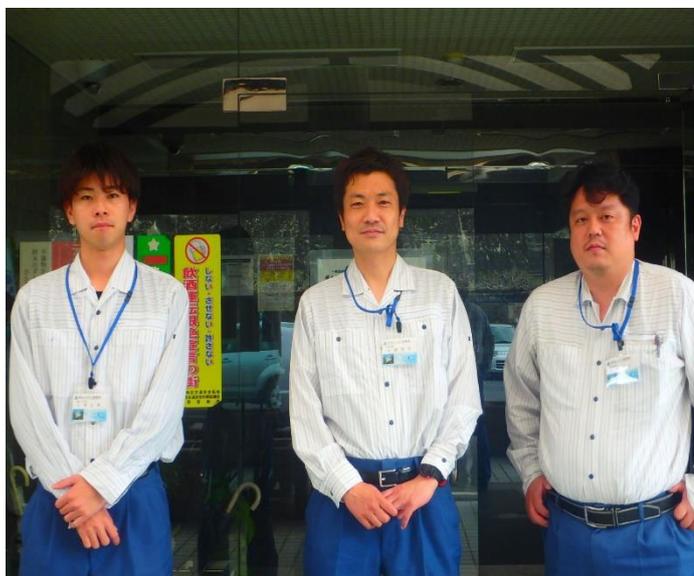
4月から阿木川ダム管理所で勤務する3名を紹介します。

・小野 周平（所長代理（技術））：4月1日付で、阿木川ダムの所長代理として赴任しました小野と申します。前任地は同じ岐阜県内の徳山ダムです。機構に入社して27年となりましたが阿木川ダムは初めての赴任地となります。阿木川ダムは管理開始から私の機構経験年数よりも長い31年となりました。流域の方からはダムの管理以降は、雨が降っても以前より安心していただけるというお話も伺っております。引き続き皆様の暮らしを守っていただけるように精進していきます。一方で、近年の異常な大雨の降り方等を考えるとダムの限界を超える出水が発生することも想定され、そのような際は流域の方々のご協力が不可欠となります。引き続きご指導とご協力のほどよろしくお願いいたします。

・小澤 佑亮（総務・渉外班）：4月1日付で、阿木川ダム管理所に赴任しました総務渉外班の小澤と申します。着任初日から、優しい上司の方々から叱咤激励を込めての小さな喝の日々が続いており、ついて行くことに必死な毎日ですが、明るく楽しくをモットーに業務に励んでおります。

初めてのダム管理所で学ぶことだらけではございますが、地域の皆様から安心・安全なダムと感じていただけるよう、日々精進して参ります。

・伊藤 博之（維持管理班）：4月1日付で、池田総合管理所 早明浦ダム再生事業推進室より阿木川ダム管理所維持管理班に着任しました伊藤と申します。入社以来、主にダム建設、ダム再生事業に従事してきたため、本格的なダム管理の仕事は阿木川ダム管理所が初となります。ダム建設で得てきたノウハウをダム管理にも生かして、的確なダム管理を行っていただけるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



■左から 小澤 小野代理（技術） 伊藤

○ ハナモモの花がきれいに咲きました

今年も阿木川ダム湖畔の右岸管理用道路沿いにきれいにハナモモの花が咲きました。例年桜の開花後に咲き誇り、阿木川ダム周辺を散策するみなさまを楽しませるハナモモ。

ハナモモは中国原産のバラ科の樹木で、「気立ての良さ」、「あなたに夢中」といった花言葉があるそうです。



■管理用道路沿いのハナモモ



■ハナモモと表層曝気の噴水

徳山ダム管理所

○ 新任所長あいさつ

本年4月に徳山ダム管理所長を拝命いたしました有馬 慎一郎です。さいたま市にある水資源機構本社からの異動です。どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度は管理開始から14年目を迎えます。

これまで「揖斐の防人」として洪水被害の軽減に努めて参りました。平成20年5月の管理開始以降、55回の防災操作を実施しています。平成26年台風11号では横山ダムとの連携操作により揖斐川の万石地点で推定約2mの水位低減効果を発揮しております。最近は毎年日本のどこかで大きな水害が起こり、いつ、揖斐川においても発生しないとは限りません。令和2年に締結いたしました木曾川水系治水協定に基づ



づく事前放流も含め、国土交通省の横山ダムと連携した防災操作について、徳山ダム管理所職員一同しっかり訓練して、引き続き、地域の洪水被害軽減のお役に立ちたいと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、徳山ダムの豊かな自然を活かした「揖斐川水源地域ビジョン」の推進、徳山ダム上流の水源地域や揖斐川中下流部の河川環境を守るため地域や関係機関と連携した活動に取り組んで参ります。

○ 国道417号線の冬期通行止めが解除になりました

徳山ダムへ向かう国道417号線は、徳山ダムから北の福井県方面への通行が昨年12月10日から冬期の通行止めとなっていました。春を迎え4月15日（金）によりやく通行止めが解除となりました。今冬は積雪が多かったことから例年よりも遅い解除となりました。

これから新緑の爽やかな季節を迎えます。風を受けて反射する新芽はとてもきれいです。おいしい空気を吸いに徳山ダムへお越してください。



■ 通行止めの様子



■ ゲートが撤去された国道

長良川河口堰管理所

○ 水質事故対応訓練を実施しました

3月2日（水）に長良川河口堰管理所では、水質事故対応訓練を実施しました。

はじめに座学を実施し、水質事故発生時の連絡体制や、オイルフェンスの設置方法、オイル吸着マットの種類、水質事故対応資材の保管場所について確認を行いました。その後、水質事故が発生した想定で実技を実施し、防災体勢や水質事故連絡資料の作成、フェンスの設置を行いました。

長良川河口堰管理所では、水質事故に備えて迅速に対応できるよう、今後も定期的な訓練を継続していきます。



■ 事故対応訓練（座学）の様子



■ フェンス設置の様子

味噌川ダム管理所

○ 味噌川ダム防災資料館（ふれあい館）開館のお知らせ

昨年12月から休館しておりました味噌川ダム防災資料館が4月9日（土）に開館致しました。

各種イベントや展示会においても今年度中に複数回開催予定でございます。ダム見学とともにお気軽にお立ち寄りください！

詳しくはこちら。 <http://www.fureaikan.jp/>



三重用水管理所

○ 春の三重用水管理所にお越しください

鈴鹿山脈に抱かれた菰野調整池のほとりに三重用水管理所は位置しています。市街地からすこし奥まった自然は、四季折々それぞれの姿を私たちに見せてくれます。

菰野調整池には所々に桜が植えられています。今年の冬は雪も多く厳しい寒さが続きましたが、菰野調整池の桜は冷たい雪に耐え、春の訪れと共に今年もきれいな花を咲かせてくれました。また、あまり知られていませんが、散策路に沿ってきれいな水仙の花も植えられています。

また、鈴鹿山脈（雲母峰～御在所岳～釈迦ヶ岳～竜ヶ岳～藤原岳）の山並みや北勢地方の市街地を望みながらの散策は、気分もリフレッシュできます！

桜は葉桜になり、水仙の花は散ってしまいましたが、季節の移ろいを感じられる菰野調整池の散策路はウォーキングにぴったりです。ぜひお越しください



■桜越しの菰野調整池



■水仙と鈴鹿山脈



ブレイクタイム 四字熟語

【白首窮経（はくしゅきゅうけい）】

・何歳になっても学び続けるということは、人生においてとても大事なことです。白髪になるまでという映像が浮かんでくるようです。

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー 【令和4年 5月～6月】

新型コロナウイルス感染防止のため、各イベントについては自粛しております

編集後記

【担当課：中部支社総務部 総務課】

令和4年度が始まり、中部支社では、支社長をはじめ幹部のメンバーがほとんど新しくなりましたが、水資源機構（旧水資源開発公団）の通算60周年を新たなメンバーで努めて参ります。

最近、世界ではロシアとウクライナの戦争が勃発し、多くの戦争難民が出ています。日本では経済面で資源の輸入、輸出において大きな影響を及ぼしています。

また、国内では約2年前から新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、未だに感染者が高止まりになっています。

2年間もホームステイを強いられてストレスも相当たまっているのではないのでしょうか。

現時点では規制も緩和されていますので、このゴールデンウィークには新緑を求めて各地にお出かけになってはいかがでしょうか。

この場合でも感染対策として「マスク、手洗い」と密にならないように注意してお出かけください。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

『第186号は、6月下旬に発行する予定です。』

バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社